

Viva! ITALIA 「旅と芸術と、甘い生活」

Il viaggio, l'arte e la dolce vita ——— 写真と映画でめぐるイタリア

日本における
イタリア
2001
ITALIA IN
GIAPPONE



木村伊兵衛「散歩」1954

第1部 イタリア紀行: Viaggio in Italia

木村伊兵衛「ローマ」(1954)

渡辺義雄「イタリア」(1956)

川田喜久治「聖なる森 / ボマルツォ」(1966-69)

原直久「イタリア山岳丘上都市」(1977-90)

奈良原一高「ヴェネチアの夜」(1973-86)

沢渡 朝「ナディア / イタリア旅行」(1971-72)

第2部 アーティストの部屋: Studio degli artisti

安齋重男「イタリアのアーティストたち」(1970-90年代)

木之下晃「イタリアのマエストロ」(1970-90年代)

東京都写真美術館では、「日本におけるイタリア2001年」参加企画展として、写真と映画による「Viva! ITALIA」展を開催します。

歴史と芸術を誇る国イタリアは年代を問わず、常に観光の人気渡航先としてトップにランキングされています。また、多くの文化人や芸術家たちを惹きつけ、彼らのイマジネーションの源として魅力的な国であります。とりわけ、写真家たちは、特異な地形や叙情的な光景の風景写真、才能や人情味あふれる人物写真を求めて、今もイタリアを被写体に訪ねる人が後を絶ちません。本展では、東京都写真美術館が誇る国際的な写真コレクションの中から、著名な日本人の写真家たちによる、イタリアをモチーフとした芸術写真約150点とともに、イタリア映画の巨匠フェデリコ・フェリーニ監督の貴重な50年代の作品をニュー・プリントで上映し、彼らがとらえた芸術的なヒューマニズムあふれるイタリアの表情を展覧します。



渡辺義雄「ローマ」1956



奈良原一高「落日」1986

2001年10月6日(土)～11月4日(日)

東京都写真美術館3F展示室(写真)+1Fホール(映画)

開館=午前10時～午後6時

(木・金は午後8時まで、入館は閉館の30分前、毎週月曜休館、10/8開館、10/9休館)

主催=「Viva! ITALIA」実行委員会

後援=イタリア大使館/「日本におけるイタリア2001年」財団/イタリア文化会館

イタリア政府観光局/産経新聞社/NHK情報ネットワーク

協賛=JHI/EIDO 株式会社 東芝 東京支店

協力=ザジフィルムズ/サッポロビール/フォト・ギャラリー・インターナショナル

企画構成=東京都写真美術館

お問い合わせ=東京都写真美術館 ☎03-3280-0099

東京都写真美術館 (恵比寿ガーデンプレイス内)

Viva! FELLINI 「フェリーニの回顧上映」

Retrospectiva di Fellini anni'50 ——— イタリアの、魂の救済。

イタリアはまた映画大国であります。戦後のイタリアン・ネオリアリズムは世界中の映画人に影響を与えました。また第2次大戦敗戦国であるイタリアは、日本と似た戦後社会を経験し、その中からロッセリーニ、デ・シーカ、フェリーニ、ヴィスコンティ、アントニオニなどの監督が力強く立ち上がり、世界の映画界をリードしました。

今回はイタリアを代表する巨匠フェデリコ・フェリーニ監督の初期作品「青春群像」、妻ジュリエッタ・マッシーナ主演の重要作「カピリアの夜」、そして戦後から立ち直ったイタリアを描いた超大作にして代表作「甘い生活」を、すべてニュー・プリントで上映いたします。関係者の努力により、実現したこの上映は大変貴重なものです。

時代を鋭く見つめながら、根底にイタリア的な喜び、哀しみをたっぷりとたたえるフェリーニ映画の世界を、この機会にお見逃しの無いようお奨めいたします。お得なセット券(写真展+映画)も用意しました。



「青春群像」

I vitelloni (1953、伊=仏、116分)

海辺の地方都市を舞台に失業中の若者グループの生活を描いた青春映画。作家志望の主人公が故郷を捨てて旅立つストーリーから、フェリーニの自伝的要素が強い作品と言われている。ヴェネツィア映画祭で銀獅子賞に輝き、世界的な成功をおさめた最初の作品となった。

写真展 ●一般 500(400)円
●小・中・高 250(200)円
映画 ●一般 1500円
●小・中・高・割 1300円

セット券(写真展+映画) ●一般のみ 1600円

* ()内は20名以上の団体料金

* 写真展示は、小学生未満、都内に通学する小・中学生および65歳以上、お身体に障害をお持ちの方とその介護者1名は無料。(証明できるものをお持ち下さい)

* 割引対象は、写真美術館友の会会員、三越カード会員、TSUTAYA online会員ほか。



「カピリアの夜」

Le notti di Cabiria (1957、伊、111分)

お人好しの娼婦が、男たちに騙されながらも、その献身的なまでの純粋さで生きていく姿を描いた名作。主役であり妻であるジュリエッタ・マッシーナの魅力を最大限に引き出し、「魂の救済」をテーマとした三部作の最終章を飾る。アカデミー賞外国語映画賞受賞。



「甘い生活」

La dolce vita (1960、伊=仏、173分)

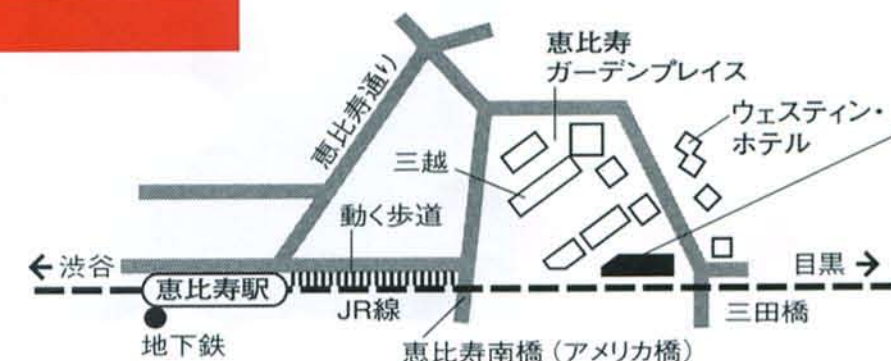
上昇志向の強い青年ジャーナリストが、ゴシップ記事売り物にしながら、ローマの上流社会の退廃的な生活に溺れていく様子を描いた超大作。この作品も監督の自伝的要素が強く、主役のマルチェロ・マストロヤンニは「フェリーニの分身」とまで言われた。

	13:00～	15:30～	18:00～
10 / 6(土) → 10 / 19(金)	「青春群像」 116分	「カピリアの夜」 111分	「甘い生活」 173分

	13:00～	16:30～	19:00～
10 / 20(土) → 11 / 4(日)	「甘い生活」 173分	「青春群像」 116分	「カピリアの夜」 111分

※10/12(金)は休映

すべてニュー・プリントの貴重な上映、お見逃しなく!



東京都写真美術館

JR恵比寿駅東口改札
地下鉄日比谷線恵比寿駅より
恵比寿ガーデンプレイスまで徒歩約7分。
当館には専用の駐車場がございません。
お車のご来場はご遠慮ください。

恵比寿駅より、動く歩道で7分
URL <http://www.tokyo-photo-museum.or.jp>